

元号	西暦	野村光一氏に関するできごと、主な著作	音楽関連のできごと・世の中のうごき
明治12	1879		文部省音楽取調掛設置
20	1886		東京音楽学校設立
28	1895	9月23日、大阪に生まれる	日清戦争(1894~1895)
29	1896	3月、東京に移る	
30	1897		日本楽器製造株式会社(現・ヤマハ)設立
31	1898		
32	1899		日本初の蓄音機専門店開店
33	1900		鈴木政吉、名古屋にヴァイオリン工場設立
34	1901		雑誌「音楽之友」創刊
35	1902		慶應義塾ワグネル・ソサエティー創立
36	1903		
37	1904	京都に移る	日露戦争(~1905)
38	1905		日比谷公園音楽堂で軍楽隊初演奏
39	1906		
40	1907		日米蓄音機製造株式会社(現・日本コロムビア)設立
41	1908		雑誌「音楽界」創刊
42	1909		国産レコード発売開始
43	1910		音楽鑑賞団体「東京フィルハーモニー会」設立
44	1911		帝国劇場開場 いたう屋呉服店が少年音楽隊(現・東京フィルハーモニー交響楽団)結成
明治45 大正元	1912		雑誌「月刊楽譜」創刊
2	1913		
3	1914	東京に移る	第一次世界大戦(~1918)
4	1915	慶應義塾大学文科入学	
5	1916	大田黒元雄氏らとともに雑誌「音楽と文学」創刊	
6	1917		浅草オペラ始まる ロシア革命
7	1918		プロコフィエフ来日

元号	西暦	野村光一氏に関するできごと、主な著作	音楽関連のできごと・世の中のごき
	8 1919		初めての本格的歌劇団「ロシア歌劇団」来日
	9 1920	慶應義塾大学文学部卒業	山田耕筰創設「日本楽劇協会」第1回公演
	10 1921	7月、イギリスへ留学	シューマン＝ハインク(Vo)来日
	11 1922		
	12 1923	3月、イギリスより帰国 鎌倉材木座に居を構える	ハイフェッツ(Vn)来日 関東大震災
	13 1924	千枝夫人と結婚	東京音楽学校にて「第九」日本公式初演
	14 1925		東京放送局(JOAK)ラジオ試験放送開始
大正15 昭和元	1926	東京日日新聞に演奏会評を書き始める(～1943)	新交響楽団設立(現・NHK交響楽団)
	2 1927		モイセイヴィッチ(P)来日
	3 1928		ジャック・ティボー(Vn)来日
	4 1929		日比谷公会堂開館 世界経済恐慌
	5 1930		
	6 1931	『楽壇随想』	クロイツァー(P)来日 満州事変
	7 1932	音楽コンクール(現・日本音楽コンクール)創設 (～1975委員・審査員、1976～名誉委員)	東京音楽学校に作曲科設置
	8 1933		国際連盟脱退
	9 1934	『レコード音楽読本』	藤原歌劇団第1回公演「ボエーム」
	10 1935		ルービンシュタイン(P)来日
	11 1936	『ピアノ音楽発達史』	シャリアピン(Vo)来日
	12 1937		ワインガルトナー(Co)来日 日中戦争(～1945)
	13 1938	『音楽の発達と音楽家』	
	14 1939		第二次世界大戦(～1945)
	15 1940	『名曲に聴く 上』、『同 下』	紀元二千六百年式典(奉祝楽曲発表演奏会)
	16 1941	『音楽青年の説』	「日本音楽文化協会」設立 太平洋戦争(～1945)
	17 1942		楽壇から片仮名追放
	18 1943		ジャズ・レコード禁止
	19 1944	毎日新聞社事業部学芸部嘱託(～1988)	枢軸国以外の外国人音楽家出演制限
	20 1945		音楽戦犯論争おこる 終戦

元号	西暦	野村光一氏に関するできごと、主な著作	音楽関連のできごと・世の中のごき
昭和21	1946		東宝交響楽団(現・東京交響楽団)設立
22	1947	全日本学生音楽コンクール創設 (理事・委員、第33回以降は諮問委員)	
23	1948	『青い花の晝顔 ショパン』	日本合唱コンクール第1回開催
24	1949	『音楽青春物語』、『音楽史』、『ピアノ名曲選』	東京音楽学校、東京芸術大学音楽学部となる
25	1950	学習院大学講師(～1968) 『ぼくらの音楽』	レヴィ(P)来日(戦後初の外国人演奏会)
26	1951	『ピアノ音楽史』	日本初のLPレコード発売
27	1952	東京理科大学講師(～1977) 『名楽曲入門』	コルトー(P)来日
28	1953	『レコードに聴くピアノ音楽』	NHKテレビ放送開始
29	1954	神奈川県立音楽堂運営協議会副会長(～1981)	神奈川県立図書館・音楽堂開館
30	1955	東京都民劇場理事(～1988) 『音楽を語る』	黛敏郎、日本初の電子音楽制作
31	1956	東京家政大学教授(～1974) 『ショパン』	日本フィルハーモニー交響楽団発足 国連加盟
32	1957	『LPレコード案内』	ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団初来日
33	1958	株式会社音楽之友社監査役 フェリス女学院短期大学講師 『音楽の窓』	
34	1959		小澤征爾、ブザンソン国際指揮者コンクール1位入賞
35	1960	フランス国政府から芸術文学勲章オフィシエ受章	
36	1961	日本放送協会放送文化賞受賞	東京文化会館完成
37	1962	神奈川県文化賞受賞(音楽普及啓発の功労)	読売日本交響楽団第1回演奏会
38	1963	日本ショパン協会会長(～1981)	
39	1964		東京オリンピック開催
40	1965		中村紘子、ショパン国際ピアノ・コンクール4位入賞
41	1966		国立劇場開場
42	1967	紫綬褒章(音楽評論の功労) 東京都交響楽団理事(～1987)	前橋汀子、ロン＝ティボー国際音楽コンクール3位入賞
43	1968		
44	1969	ポーランド国政府から復興コマンダー十字勲章 武蔵大学人文学部講師(～1981)	
45	1970		ロエ管弦楽団(現・神奈川フィルハーモニー管弦楽団)設立
46	1971	『お雇い外国人10:音楽』	
47	1972	日本大学芸術学部講師(～1980)	沖縄返還

元号	西暦	野村光一氏に関するできごと、主な著作	音楽関連のできごと・世の中のうごき
	48 1973	勲四等旭日小綬章受章(芸術文化振興功労)	NHKホール開館
	49 1974	神奈川県立県民ホール運営協議会委員(～1987)	
	50 1975	毎日新聞社退職、毎日新聞社社友 『ピアノ回想記』	
	51 1976	神奈川芸術祭運営員・選考委員(～1986) 千枝夫人逝去	
	52 1977		
	53 1978	神奈川フィルハーモニー管弦楽団理事長(～1982)	藤原真理、チャイコフスキー国際コンクール2位入賞
	54 1979	鎌倉市長表彰(教育文化功労賞受賞)	ソニー、ウォークマン発売
	55 1980		堀米ゆず子、エリザベート王妃国際音楽コンクール1位入賞
	56 1981	神奈川県立音楽堂運営協議会会長(～1987)	清水和音、ロン＝ティボー国際音楽コンクール1位入賞
	57 1982	神奈川フィルハーモニー管弦楽団顧問(～1988)	CD発売
	58 1983		
	59 1984	第14回モービル音楽賞受賞	
	60 1985	『野村光一音楽随想』	
	61 1986		
	62 1987		若林顕、エリザベート王妃国際音楽コンクール2位入賞
	63 1988	5月22日、鎌倉市の自宅で逝去、92歳	
昭和64 平成元	1989	神奈川県立音楽堂で追悼演奏会 安田輝子氏(野村光一氏令嬢、野村光一文庫寄贈者)に県知事の感謝状贈呈	ベルリンの壁崩壊
	2 1990	野村光一文庫公開開始	

略語：(P)…ピアノ、(Vn)…ヴァイオリン、(Vo)…声楽、(Co)…指揮

主要参考文献

- 『ドレミを選んだ日本人』 千葉優子 著 音楽之友社 2007
『日本戦後音楽史 下』 日本戦後音楽史研究会 編 平凡社 2007
『日本洋楽外史』 野村光一ほか著 ラジオ技術社 1978